

1 総務委員会

委員長 富沢 マミ

総務委員会は、諸会議、定時総会、賀詞交歓会等の企画運営に関する業務をはじめ諸規定の策定整備と管理、事務局の運営など、建築士事務所協会の全体を支える言わば縁の下の力持ち的な重要な役割を持った委員会ではないかと思えます。



昨年度まではコロナ禍で各委員会や支部においても十分な活動が出来なかったのでは無いでしょうか。今年度は井桁会長のもとで執行部や各委員会も新しい体制となりましたので、支部、委員会、理事会をはじめ会員同士の交流を活性化し、賛助会や当協会にかかわりのある団体等との交流も深めていければと思います。

今年度はクラウドサービスとラインワークスが全く活用されていなかったため解約しました。次年度以降はもっと会員の皆様に活用していただけるようなクラウドサービスや協力事務所紹介、ホームページ上での電子決済システム等を検討しております。また、賀詞交歓会も皆様に楽しんでいただけるよう例年のない企画を予定しておりますので奮ってご参加ください。

最後に委員長として諸先輩方と比べると至らない点が多いと思えますが、是非とも会員の皆様の率直なご意見等をいただけますと大変励みになります。活発な意見交換ができる風通しの良い環境をつくり、組織の充実と会員の増強に努めて参りますので更なるご支援をよろしく願いいたします。

2 青年委員会

委員長 山岡 治

2020年2月に千葉会に青年委員会が発足しました。今までコロナウイルスの影響もあり、活動は出来ていません。今後は青年委員会のメンバーを増やしながら、活動をしていく方向です。



メンバーの参加資格ですが、50歳までの正会員、賛助会員、正会員事務所所属の所員としています。今後は募集をかけていきます。千葉県事務所協会では会員数が減少しています。会を盛り上げ、会員を増やすには、若い層を取り込むことが必要と考えます。正会員だと年齢の制限があるため、賛助会員、正会員事務所所属の所員まで広げています。正会員の皆様には、今後の建築士事務所協会の発展のために、是非、所属の若手設計者を出して頂きたいお願い申し上げます。

今年度の活動は「賛助会まつり」の積極参加と「求人案内会社名簿作成」です。「賛助会まつり」参加は、青年委員として見学し、その後、意見交換をします。その中で来年度の活動や将来、青年委員会が目指すものの意見交換ができればと考えています。「求人案内会社名簿作成」は、会員の多くが零細企業です。求人案内を出しても、なかなか求人が来ないというのが現状です。求人をする正会員の事務所を対象に名簿を作成し、事務局で閲覧できるようにしたいと思います。

目下、青年委員は6名です。この青年委員会の活動・運動をより大きなものにすべく会員拡大を行うとの認識を共有し、そして世の中へ建築士の存在意義を多く伝えられる組織にしていきたいと考えております。

3 技術委員会

委員長 藤原 満

技術委員会は、主に講習会と耐震相談会を担当しております。



既存建物耐震診断改修講習会はweb化に伴い、千葉県のYouTube公式チャンネルで展開しております。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenchiku/taishinkaishuu/taishinkoushuukai.html>

法改正、改正省エネ、JAAF-MSTなどの講習会などを開催しております。また賛助会員様とも様々な講習会の案内もしております。web講習会もありますのでその案内と、対面講習も開催するよう企画しております。

2025年4月には建築基準法改正が行われます。まずは建築基準法6条4号が条文から消えることとなります。皆様準備は

大丈夫でしょうか?同時期に住宅の省エネ基準改正、2024年4月には大規模建築物の省エネ基準の変更もあります。当会でも有益でタイムリーな講習会を実施していきたいと考えております。

そして、千葉県からの受託事業として「わが家の耐震耐震相談会」を開催しております。各支部耐震相談会を開催していただいておりますが、補足する地域として千葉県から受託して相談会開催しております。本年は10回の開催を予定しております。耐震診断・耐震改修やブロック塀等の安全対策について普及啓発を行うため、各市町村へ出向き、県と各市町村担当者として一般市民の相談会の開催しております。

以上、技術委員会は会員向けと合わせ、県民向けの活動も行っております。ご意見などありましたら、お声掛けいただければ幸いです。